活動 その1　寄付型自動販売機「ゆび募金」

寄付金額は
飲料１本につき１円から
自由に設定できます

【例】1か月の販売本数が300本の場合

1本あたりの寄付金額	1か月寄付金額	1年間寄付金額
	600円	7,200円
	1,500円	18,000円

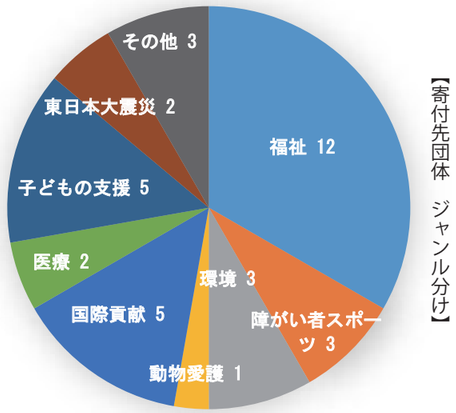
環境･福祉･医療･国際貢献など
社会問題に取り組む団体に寄付

まとまった台数があれば、
企業様・団体様独自の基金を
立ち上げることも可能です

寄付先団体数　36 団体

現在、ゆび募金の寄付先として登録されている団体は、
様々なジャンルから 36 団体あります。

寄付先団体の活動状況をお知らせするなどして、
公益活動団体と支援者の皆様の間をつなぐ架け橋に
なることも、私たちの大事な役割のひとつです。



年間寄付金額　669 万 6,844 円

2021 年度の年間寄付金額です。半年ごとに取りまとめ、２月と８月に各寄付先団体に送金しました。

累計寄付金額　1 億 7,324 万 8,126 円

1997 年の創立以来の累計寄付金額です。
小さな寄付の積み重ねが、継続することで
大きな力になります。

【寄付先団体別 2021 年度寄付金額】

福　祉　（14団体）	年間寄付金額
公益財団法人　日本盲導犬協会	1,102,008
公益財団法人　日本補助犬協会	75,616
公益財団法人　北海道盲導犬協会	10,117
公益財団法人　九州盲導犬協会	404,000
社会福祉法人　東京都手をつなぐ育成会	34,086
社会福祉法人　あかぎの響	80,825
社会福祉法人　愛誠会	60,053
埼玉県自閉症協会	58,717
NPO法人　希親会	3,688
社会福祉法人　産経新聞明日への旅立ち基金	13,386
NPO法人　日本ウェルフェアサポート協会ココム	6,086
社会福祉協議会（3ヶ所）	11,042
子どもの支援　（5団体）	
公益財団法人　メイク・ア・ウィッシュ オブジャパン	239,356
公益財団法人　漁船海難遺児育英会	112,146
公益財団法人　交通遺児等育成基金	3,446
公益社団法人　家庭養護促進協会	22,911
NPO法人　子どもプロジェクト	10,992
環　境　（3団体）	
公益財団法人　日本自然保護協会	111,669
公益財団法人　緑の地球防衛基金	424,749
NPO法人　緑のカーテン応援団	83,074

国際貢献　（5団体）	年間寄付金額
認定NPO法人　国境なき医師団	329,292
認定NPO法人　国連ＵＮＨＣＲ協会	76,606
認定NPO法人　国連ＷＦＰ協会	466,747
認定NPO法人　世界の子どもにワクチンを日本委員会	279,642
NPO法人　日本医療開発機構	60,385
医療関係　（2団体）	
認定NPO法人　日本IDDMネットワーク	12,343
公益財団法人　日本対がん協会	815,482
障がい者スポーツ　（3団体）	
一般社団法人　日本車いすテニス協会	7,296
NPO法人　日本障害者スキー連盟	33,271
一般社団法人　全日本知的障がい者スポーツ連盟	31,742
動物愛護　（1団体）	
公益財団法人　動物臨床医学研究所　「人と動物の会」	52,073
東日本大震災　（2団体）	
東北3.11基金	678,941
認定NPO法人　沖縄・球美の里	329,062
その他	
NPO法人　マザーズサポーター協会	12,279
NPO法人　ポジティブ・フロム・ジャパン	70,256
特定失踪者問題調査会	14,783

活動 その２　食品ロス解消「フードバンクＪＫ」

2022年はフードバンク事業が大きく拡大した１年でした。社会全体でSDGsへの意識が高まる中、誰にとっても身近な問題である食品ロスについても関心が高まりました。一方、コロナ禍をはじめさまざまな厳しい社会状況を受け、支援を必要とする方も増加の一途をたどりました。

１．フードドライブ：食品を集めるイベント

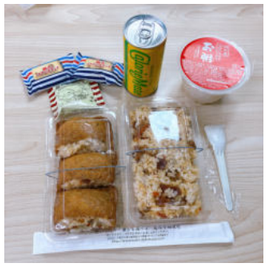
毎月定期的にフードドライブを実施。10月からは車で出張フードドライブを開始するなど、活動を広げました。市民の皆さんの認知度も高くなり、毎回多くのご寄付が集まりました。

２．フードパントリー：食品を提供する活動

昨今の厳しい社会状況を受け、支援を必要とする個人の方の登録が日に日に増え、延べ93名の方に提供しました。できるだけ個人に寄り添うためと、二次的な食品ロスを防ぐ目的もあり、家族構成や好みなども把握するようにしています。
その他、子ども食堂や養護施設、居場所カフェなどに随時食品提供を行っています。

３．ミニ炊き出し

毎月ミニ炊き出しも実施しました。
市の福祉担当者とともに、市内で路上生活されている方々を回り、すぐに食べられる食品などを提供しました。



応援に駆けつけてくれたくにニャン
国立市で大人気のゆるキャラです

６月の環境月間に合わせ、６月17日～19日の３日間、JR国立駅前旧国立駅舎で「くにたち食品ロスフェスタ」を開催しました。

オープニングアクトとして、アルトサックス奏者の岡野秀明さんとピアノ奏者の佐藤勝さんのお二人が、ジャズライブで会場を盛り上げてくださいました。

３日間のフードドライブでは、点数317点、総重量98.89kgものご寄付が集まりました。
暑さ厳しい中、重い荷物を抱えてきてくださったり、わざわざ電車に乗って近隣市からお越しいただいたり、たくさんの皆さまの温かい想いが集まりました。

また19日には、支援に携わる三者（国立市役所福祉総合相談係、国立市社会福祉協議会、本会）によるミニ座談会を実施し、 それぞれの立場での支援と、連携について話し合いました。

いろいろな立場の方と知り合い、つながることのできた有意義な３日間となりました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

活動 その3

協会のオリジナル基金

全国被災地子ども支援　3.11 基金

東日本大震災の被災地支援として立ち上げた「東北 3.11 基金」。
10 年目となる昨年より支援対象を全国被災地に広げ、「全国被災地子ども支援　3.11 基金」として、再スタートしました。
甚大な被害をもたらした東日本大震災を風化させないという思いから、3.11 の名称を残しました。

2022年助成決定団体	助成活動内容	助成金額
特定非営利活動法人　福島就労支援センター	避難者・貧困世帯の子ども向けオンライン無料学習支援事業	280,000円
ともだち・カワン・コミュニティ	アフリカンリズムでつながる共生社会コミュニティ形成事業	150,000円
須賀川市スポーツ鬼ごっこ愛好会	須賀川市内児童クラブ等小学生に対する『スポーツ鬼ごっこ』の提供事業	130,000円
Youth for Ofunato	「未来を灯そう～越喜来2023～」	300,000円

JAPAN こども基金

将来の日本や世界を支える存在である子どもたちを支援するための基金を設立しました。
行政・学校・家庭だけではできない支援を、本会の基金を通じて実現したいと考えています。

※ゆび募金の寄付先として、
指定することができます。

多摩地区こども基金

地域の子どもたちの成長を地域で支援することに特化した基金です。

里芋収穫とわら細工体験
コロナ禍で制限のある生活を余儀なくされ、強いストレスにさらされている子どもたちに、前向きに生きる力を養う体験活動を提供する目的で実施しました。
11月12日（土）秋晴れの中、17名の親子が参加しました。

里芋、大根などの野菜の収穫体験を通して、自然に触れ、作物がどのようにできるのかを学びました。また、わら細工体験では、お米を収穫した後のわらをどのように加工し、活用できるのかを体験を通して学びました。
普段できない経験をするとともに、学びのある1日となったと思います。

東京都日野市にある 400 年続く無農薬農家「石坂ファーム」さんにて。
田んぼや畑で多品種を生産し、さまざまな収穫体験や製作体験を実施しています。

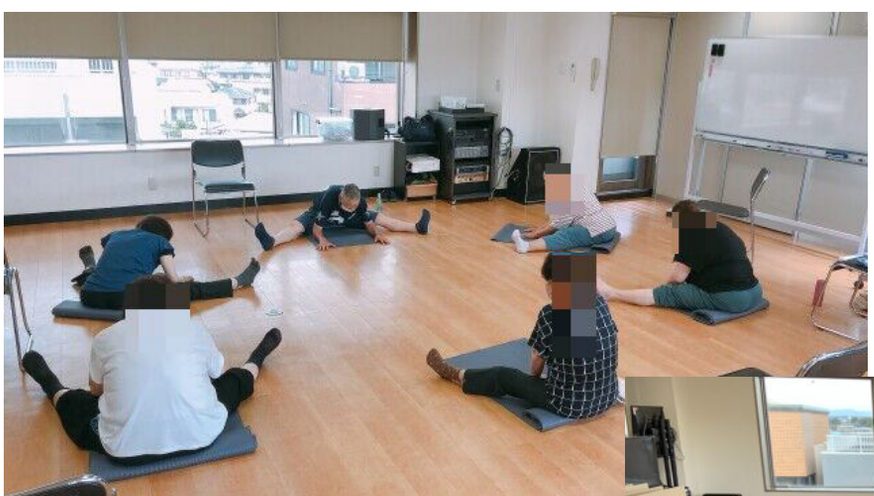
畑では、ダイコンや里芋の収穫。
稲刈り後の田んぼでは、わら細工体験。
わら細工は、手間と力と慣れが必要で、なかなか大変な作業です。
石坂ファームのわら細工名人のご指導で、最後は立派なリースになりました。
飾り付け次第で、クリスマスリースにもお正月飾りにもなりますね。

活動
その４

シニア体操教室　「いい加減体操」

人生 100 年時代、「いつまでも健康でいたい」というシニア世代を支援するために実施している事業です。
「いい加減体操」というネーミングもあいまって、地域のシニア世代に好評です。

実　施：第 1・3 火曜日　10：00 ～ 11：00
会　場：国立市内ホール　など
講　師：千葉　奈苗先生（東京女子体育大学卒／小学生から 90 歳代まで幅広い年齢層の運動指導に携わる。
現在は主にパーソナルトレーナーとして活動中）
取得資格：AFAA　PFT（パーソナルフィットネストレーナー）　ほか
趣　　味：野球（女子硬式野球最年長選手として、現在もプレー中！）



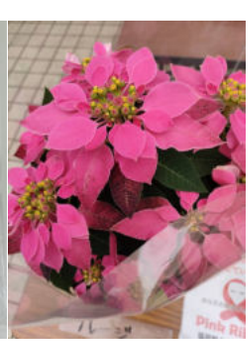
活動 その5　がんサバイバー支援　「Can+s」

Can+s Yoga！

がんサバイバーの女性のためのヨガ教室 Can+s Yoga ！は、オンラインで月に 1 回実施し、毎回全国各地から参加されました。レッスンの後にはオンラインでおしゃべり会を実施するなどして、参加者同士の交流も図りました。

実　　施　：　2021 年 9 月～ 2022 年 8 月　第 2 水曜日　計 12 回
形　　式　：　zoom によるオンラインレッスン
講　　師　：　中里　貴子先生（ヨガインストラクター／乳がんサバイバー）
目　　的　：　がんサバイバーの仲間同士で交流することで、孤独感を軽減する
　　ヨガを通じて自分の心や体の状態を受け止めて、前向きに過ごす
参加人数　：　延べ 201 名
参加者の声：　「病気になってから孤独だったが、一人じゃないという気持ちになれた」
　　「月に一度、自分を取り戻せる時間になっている」
　　「術後の体のことなど、先生のアドバイスが参考になった」など

10 月のピンクリボン月間には、今年もイベントを実施。地元国立市の商店会主催のお祭りに、ピンクリボンキャンペーンのブースを出展し、地域の方と交流しながら、ピンクリボンのメッセージをお伝えしました。



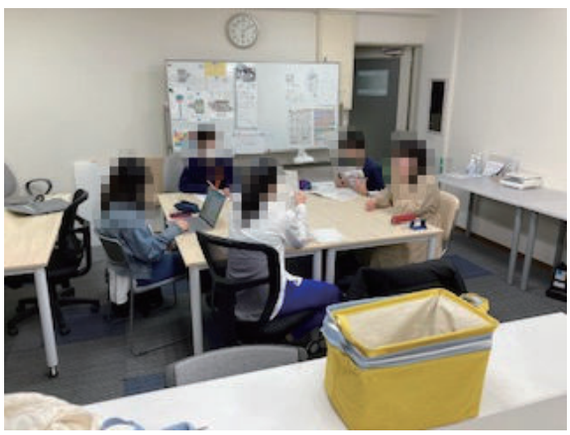
活動 その6

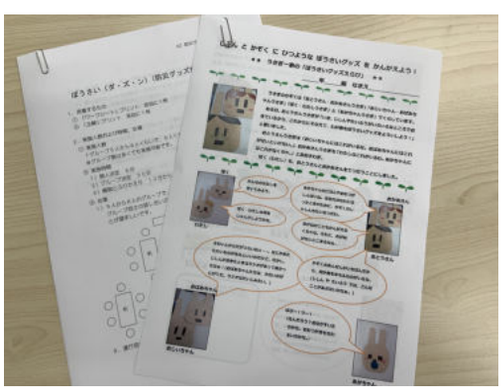
小・中学生の学習支援「くにたち Cozy Space」

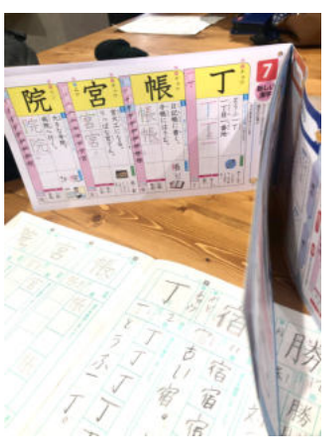
「くにたち Cozy Space」は、国立市内の小・中学生を対象にした学習支援教室です。
子どもたちも講師の大学生も、みんな含めて仲が良く、毎週楽しく実施してきました。時には勉強よりもおしゃべりに気を取られてしまうこともありますが…子どもの居場所づくりという観点から、そういった雰囲気も大切にしています。

小・中学生のための無料の学習支援
くにたち Cozy Space

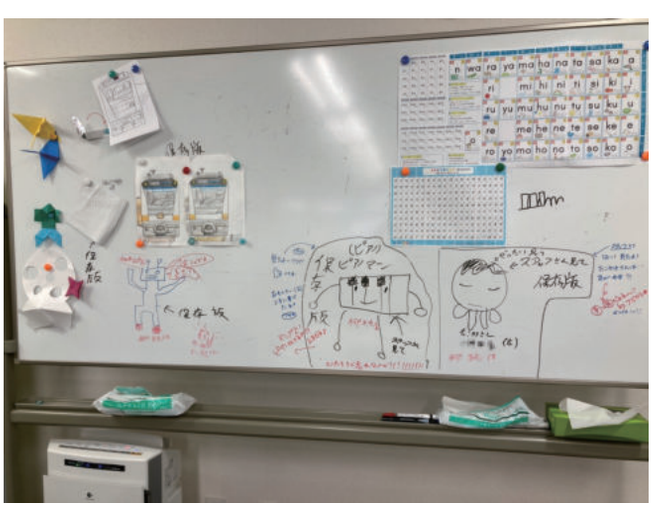
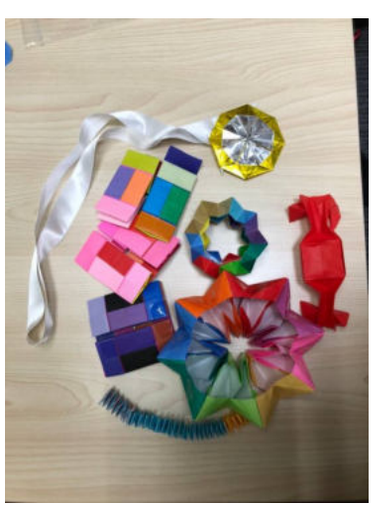
実　　施	：	毎週火曜日　小学生 16：15 ～ 17：30 中学生 17：30 ～ 19：00
場　　所	：	本会　事務所内
後　　援	：	国立市
実施回数	：	41 回（2021.9 ～ 2022.8 月）
参加人数	：	小学生 209 名　中学生 64 名　延べ 273 名 講師 6 名　（2022.12 月末現在）







9 月の防災月間には、防災について学びました



小学生は、勉強の後に折り紙をしたり、絵をかいたりすることもあります。
ホワイトボードは、いつも子どもたちが描いた絵やメッセージでいっぱいです。